

平成31年2月市議会 総務委員会資料  
第9号議案 平成31年度 長崎市一般会計予算

< 目 次 >

2款 総務費 1項 総務管理費 22目 世界遺産推進費

1. 世界遺産推進費

1 「明治日本の産業革命遺産」推進費 . . . . . P 1

2 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」推進費 . . . . . P 3

3 世界遺産観光客受入費 . . . . . P 7

2 【補助】世界遺産保存整備事業費

1 端島炭坑 . . . . . P 10

企 画 財 政 部  
文 化 観 光 部  
平 成 3 1 年 2 月

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
136～ 137	2 総務費	1 総務管理費	22 世界遺産 推進費	1-1	「明治日本の産業革命遺産」 推進費	千円 20,119

## 1 概 要

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産を適切に保存管理するため、端島炭坑等の調査を実施するとともに、関係自治体と連携して周知啓発等を行い世界遺産価値の理解促進を進める。

## 2 事業内容

(1)調査等 5,146 千円

### ア 端島炭坑跡護岸整備工法案作成

端島炭坑の護岸の整備手法について国及び県と協議するため、護岸近辺の波高と波の周期を算定し、護岸の断面算定を行ったうえで、整備工法案（3案）の作成を行う。

### イ 樹木保護対策

北溪井坑跡周辺の松くい虫による松枯れ対策として、薬剤の注入や枝払いを行う。

(2)周知啓発等 2,812 千円

### ア 世界遺産周知用リーフレット（一般用・子供用）増刷

- ・部数：一般用 5,000 部（カラー4 ページ）、子供用 2,500 部（カラー8 ページ）
- ・配布先：長崎駅、グラバー園、軍艦島資料館、高島石炭資料館等の観光施設、船会社、各地域センター等の公共施設及び各種イベント等

### イ 世界遺産ガイドマップ「2つの世界遺産があるまち」増刷

- ・部数：5,000 部（2色4 ページ）
- ・配布先：長崎駅、グラバー園、軍艦島資料館、高島石炭資料館等の観光施設、船会社、各地域センター等の公共施設及び各種イベント等

### ウ 長崎エリアガイドマップ増刷

産業革命遺産共通のガイドマップの長崎エリア版の増刷

- ・部数：10,000 部（5山6折+2つ折）
- ・配布先：長崎駅、グラバー園、軍艦島資料館、高島石炭資料館等の観光施設、船会社、各地域センター等の公共施設及び各種イベント等

### エ 端島（軍艦島）基金リーフレット増刷

- ・部数：5,000 部（カラー2 ページ）
- ・配布先：長崎駅、グラバー園、軍艦島資料館、高島石炭資料館等の観光施設、船会社、各地域センター等の公共施設及び各種イベント等

### オ 来訪者調査（小菅修船場跡、高島炭鉱北溪井坑跡）

小菅修船場跡と北溪井坑跡の来訪者の現況や推移を把握するための調査を行う。

- ・2名×20日×2箇所

(3)「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会負担金 2,448千円  
 関係自治体(8県11市)で構成する協議会が実施する各種事業に対し応分の負担を行うもの。

ア 主な事業

- ・ガイド及び管理保全に係る人材育成
- ・インタープリテーション(理解増進・情報発信)
- ・調査研究のための海外専門家の招聘

イ 負担金合計 53,856千円

※負担割合	
県市1/2ずつの負担とし、市負担については、11市の均等割りとする。	
・各県市の負担割合	県1/2、市1/2
・1県当りの負担割合	$53,856千円 \times 1/2 \times 1/8$ (8県均等割) =3,366千円
・1市当りの負担割合	$53,856千円 \times 1/2 \times 1/11$ (11市均等割) =2,448千円

(4)事務費等 9,713千円

ア 高島炭鉱整備活用委員会開催費

高島炭鉱(高島、中ノ島、端島)の遺構整備に関する委員会開催3回(東京都2回、長崎市1回)

イ その他(旅費、役務費、使用貸借料)

### 3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
20,119	707	282	14,500	-	4,630

※過疎対策事業債 充当率100%

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
136～ 137	2 総務費	1 総務管 理費	22 世界遺産 推進費	1-2	「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」推進費	千円 47,758

## 1 概 要

平成 30 年 7 月に世界遺産登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産及び関連資産である重要文化的景観「長崎市外海の石積集落景観」の重要な構成要素を適切に保存管理するため、調査や整備を行う。また、説明板の設置や歩行者ルートの整備による来訪者受入態勢の充実や市民等への周知啓発を図る。

## 2 事業内容

### (1) 構成資産等の調査・整備

32,389 千円

#### ア 構成資産モニタリングカルテ作成

構成資産の価値に貢献する要素(19ヶ所)を適正に保存管理していくため、モニタリングの指標や方法等を示したモニタリングカルテを作成する。

#### イ 大平作業場跡整備事業…………… 5 ページ (1)イ、6 ページ

所有者が実施する重要文化的景観の重要な構成要素の整備事業に対する補助

・補助内容:実施設計(屋根・軸組・基礎構造計算等)及び工事監理

保存活用工事(石積み修理工、法面保護工、雨水排水整備、トイレ整備等)

・事業費×補助率 82.5%(国 50%, 県 20%, 市 30%)、所有者負担 17.5%

#### ウ 石積み(ネリベイ)建物修理基本設計…………… 5 ページ (1)ウ

所有者が実施する重要文化的景観の重要な構成要素の整備事業に対する補助

・補助内容:修理計画検討(現地調査、修理計画検討、修理方針図作成)

・事業費×補助率 82.5%(国 50%, 県 20%, 市 30%)、所有者負担 17.5%

#### エ 構成資産環境整備

・構成資産の価値に貢献する要素(10箇所)の草刈等

### (2) 来訪者受入態勢の充実

4,180 千円

#### ア 構成資産説明板の設置…………… 5 ページ (2)ア

・構成資産の価値に貢献する要素の説明板の設置(5基、場所:墓地・屋敷跡)

#### イ 重要文化的景観説明板の設置…………… 5 ページ (2)イ

・平成 30 年 2 月に重要文化的景観「長崎市外海の石積集落景観」に追加選定された大野・赤首地区に説明板を設置する。(2基、場所:大野集落駐車場・赤首地区公民館)

#### ウ 大野地区歩行者ルートの修繕…………… 5 ページ (2)ウ

・大野集落の価値に貢献する要素である辻神社への歩行者ルート(石階段)が、凸凹して、急であることから、安全に歩きやすくするため、石階段の修繕及び手すりを設置する。(L≒13m)

(3)周知啓発

5,990 千円

ア 世界遺産登録一周年記念事業出席等

- ・「日本へのクリエイティブな旅展」参加(ユネスコ・パリ本部)及びローマ法王謁見
- ・訪問国:フランス(パリ)、バチカン 出席者:3名(市長、議長、随員1名)

イ 世界遺産周知啓発グッズ作成(5,000 個)

ウ 世界遺産周知用リーフレット(子供用)増刷

- ・部数:子供用 2,500 部(カラー8 ページ)
- ・配布先:長崎駅、各地域センター等の公共施設、各小学校及び各種イベント等

エ 世界遺産ガイドマップ「2つの世界遺産があるまち」増刷

- ・部数:5,000 部(2色4 ページ)
- ・配布先:長崎駅、各地域センター等の公共施設及び各種イベント等

オ 重要文化的景観「外海の石積集落景観」パンフレット・回遊マップ増刷

- ・部数:各 10,000 部 パンフレット:2 種類(カラー6 ページ、カラー4 ページ)

回遊マップ:4 種類(各カラー4 ページ)

- ・配布先:長崎駅、潜伏キリシタンインフォメーションセンター、道の駅夕陽が丘そとめ、外海歴史民俗資料館、各地域センター等の公共施設及び各種イベント等

(4)世界遺産登録推進事業県負担金

3,653 千円

関係自治体(2 県 6 市 2 町)が共同で実施する事業について、長崎県に対し応分の負担を行う。

ア 広報啓発事業(パンフレット作成、登録啓発グッズ作成、記念誌作成、CM・広告)

- ・事業費(3,365 千円)  $19,654 \text{ 千円} \times 1/2 \times 27.2\% + 4,630 \text{ 千円} \times 1/2 \times 30\% \doteq 3,365 \text{ 千円}$

イ 勧告への対応事業(来訪者収容力調査)

- ・事業費(288 千円)  $2,121 \text{ 千円} \times 1/2 \times 27.2\% \doteq 288 \text{ 千円}$

※負担割合

事業費を県市 1/2 ずつの負担とし、市負担については、各市の資産数を全体の資産数で按分する。ただし、広報等長崎県に限定する事業費については、熊本県、天草市を除いた負担割合とする。

3 資産(長崎市) ÷ 11 資産(全体)  $\doteq 27.2\%$

3 資産(長崎市) ÷ 10 資産(長崎県内資産)  $\doteq 30\%$ (長崎県に限定する事業の負担割合)

(5)事務費等

1,546 千円

ア 外海の石積集落景観整備活用委員会開催経費、開催 2 回

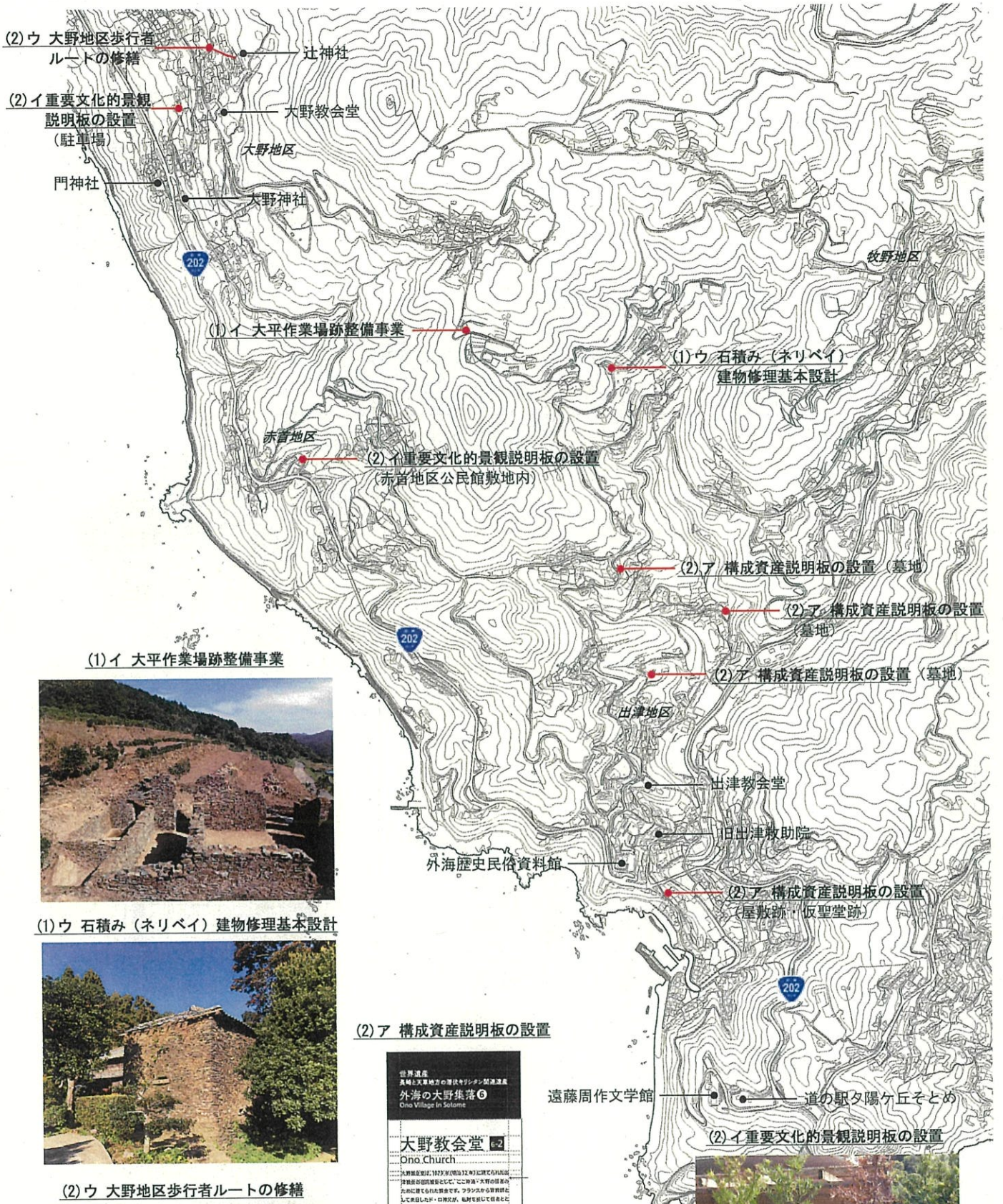
イ その他(使用賃借料、需用費、旅費)

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
47,758	15,072	6,028	18,700	—	7,958

※過疎対策事業債 充当率 100%

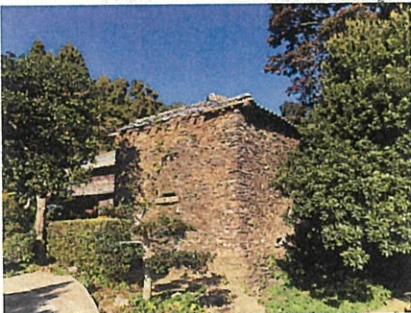
【位置図】



(1)イ 大平作業場跡整備事業



(1)ウ 石積み (ネリベイ) 建物修理基本設計



(2)ウ 大野地区歩行者ルートの修繕



(2)ア 構成資産説明板の設置

世界遺産  
長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産  
外海の大野集落 ⑥  
Ono Village in Solome

**大野教会堂 ②**  
Ono Church

大野教会堂は、1873年(明治6年)に建てられた石造りの天主堂で、外海の大野集落の中心を形成している。フランス人の宣教師として来日したP・ロザが、秘教を隠して建てた石造りの天主堂である。秘教の隠れ家としての役割を果たし、P・ロザの没後、この天主堂が教会として機能し、入口の正面にある鐘を執事たちが手で揺るがして知らせるという。

This church was built by PIERRE ROSE in 1873. It is a stone building and is the center of the Ono village and also has personal fortune for his construction. The church was constructed with natural stones in a square shape called "de Rice wall," devised by Father de Rose. A separate wall was built in front of the entrance to protect the church against strong winds from the sea. This church is a rustic structure, well-suited to the local climate.

写真

遠藤周作文学館 道の駅夕陽ヶ丘そとめ

(2)イ 重要文化的景観説明板の設置

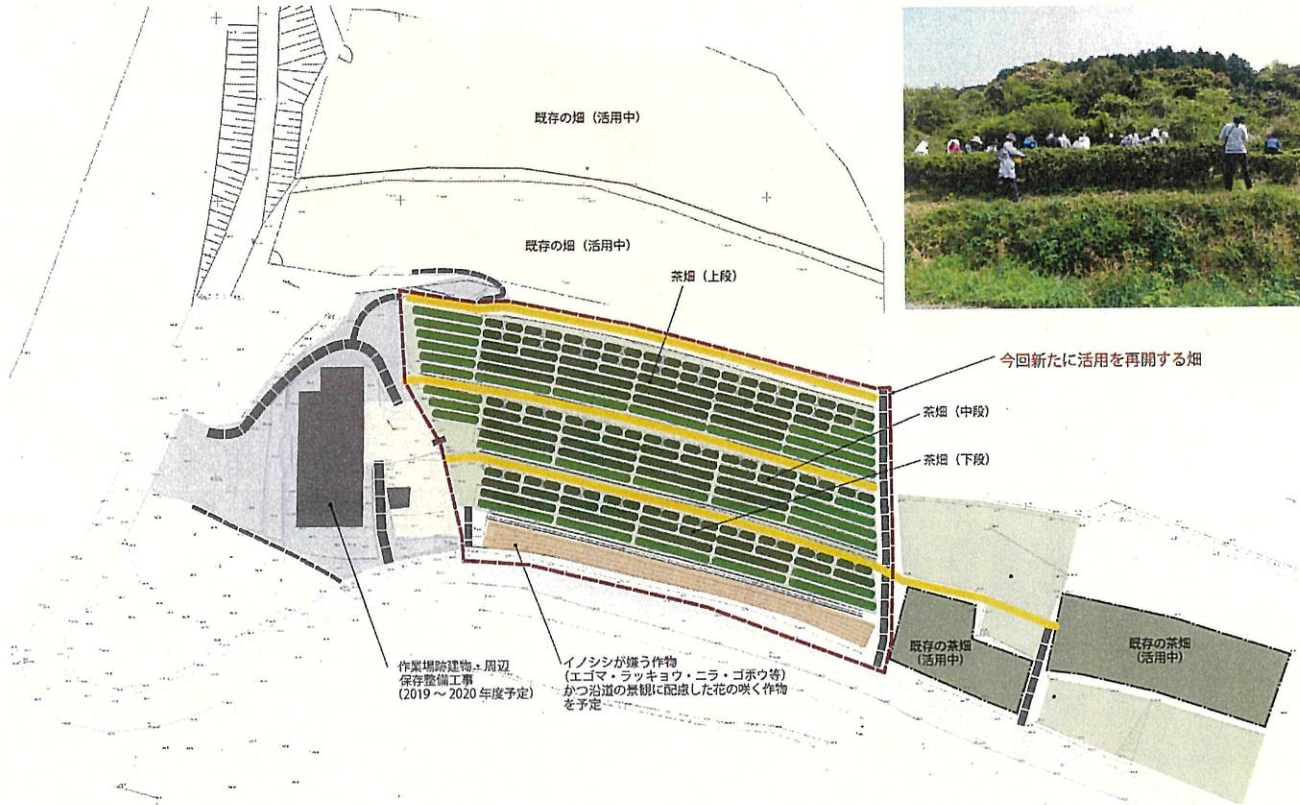


(1) 構成資産等の調査・整備

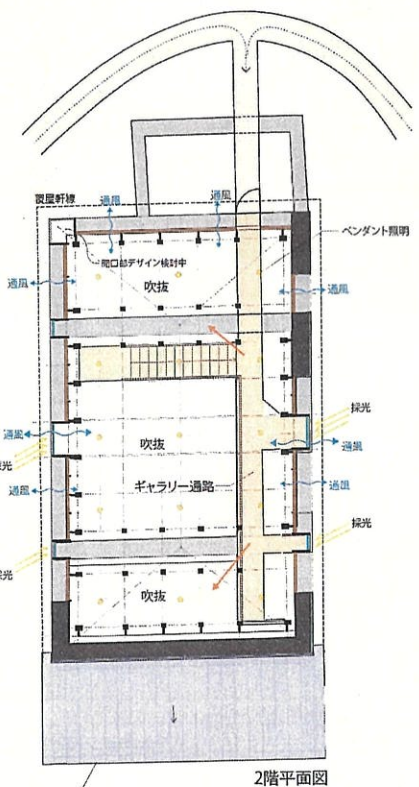
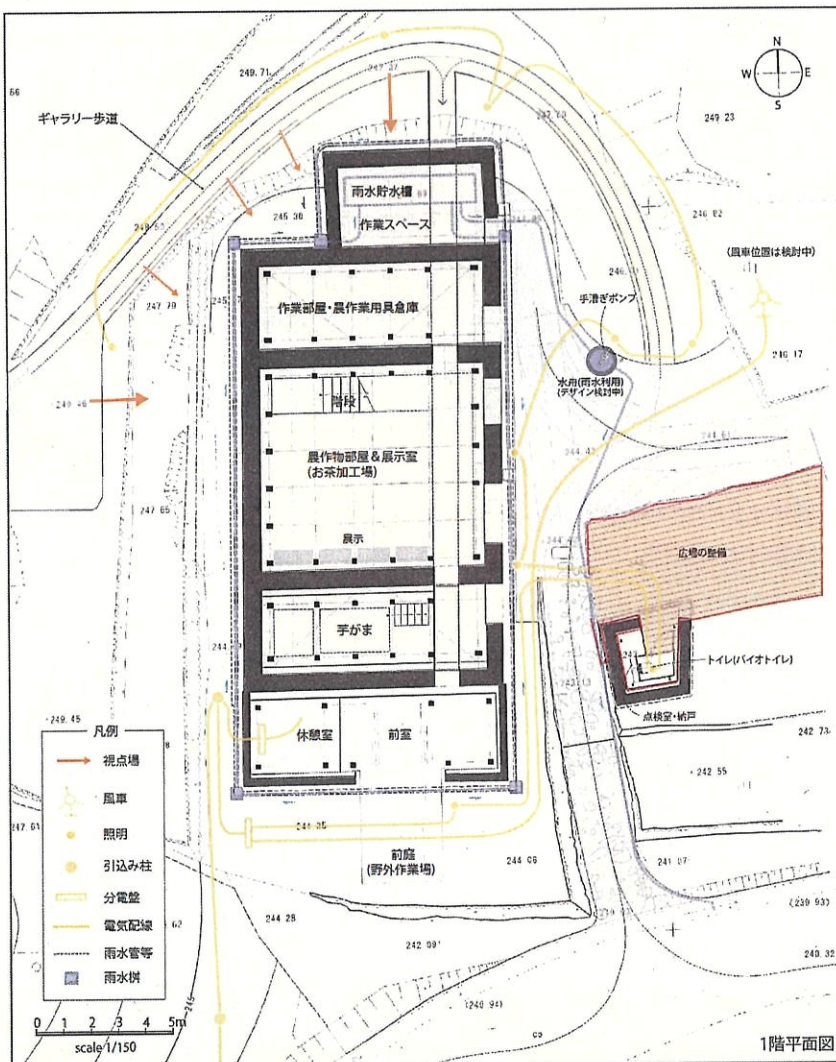
イ 大平作業場跡整備事業イメージ(茶畑・お茶加工場整備)

【整備計画図】

(既存茶畑)



【建物平面図】



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
136~ 137	2 総務費	1 総務管理費	22 世界遺産 推進費	1-3	世界遺産観光客受入費	千円 46,764

## 1 概要

世界遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」及び「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」にかかる観光客受入態勢を整備し、満足度の向上を図る。

## 2 事業内容

### (1) 世界遺産案内所運営

10,549 千円

事業概要	平成 27 年度より長崎駅かもめ広場内に設置し、構成資産の説明やアクセス案内等を実施する。	
	・案内業務委託料	7,618 千円
	・かもめ広場借上料	2,931 千円
運営体制	設置期間	平成 31 年 4 月～平成 32 年 3 月（年中無休）
	開設時間	8 時～16 時
	配置人員	常時 2 名

### (2) 誘導員配置

3,919 千円

事業概要	構成資産周辺の安全確保や渋滞予防のため、外海地区内に誘導員を配置する。	
体制	配置期間	平成 31 年 4 月～平成 32 年 3 月（118 日間） ※年末年始除く土日・祝日
	配置人員	出津エリア、大野エリア各 1 名

#### 誘導員配置予定箇所





## (3) 旧木型場の受入態勢整備

24,147 千円

事業概要	三菱重工業(株)長崎造船所関連施設のうち、旧木型場(長崎造船所史料館)について、企業活動の保護と観光客の利便性向上を目的としたシャトルバス運行による施設公開に対して補助を行う。
公開方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日に加え、土・日・祝日も開館。</li> <li>・入場は専用シャトルバス(長崎駅⇄史料館)又は観光ツアーバスによる乗入れのみとする(シャトルバス、ツアーバス 各1日6便)</li> <li>・施設維持管理費として大人800円、小人400円を徴収する。</li> </ul>
補助概要	補助金の交付先:三菱重工業(株)長崎造船所 シャトルバス運行に係る経費及び施設維持管理に係る経費に対して施設維持管理費収入を充当し、不足が生じた場合、その不足額を補助金として交付する。

## 【旧木型場観光客受入事業 平成31年度収支見込み】

(単位:千円)

収入		支出	
施設維持管理費収入…A	16,000	【シャトルバス運行に係る経費】 バス運行費…B	14,757
補助金	24,147	【施設維持管理に係る経費】 スタッフ人件費、清掃費、 光熱水費増額分等…C	25,390
合計	40,147	合計	40,147

※「施設維持管理費収入」を「シャトルバス運行に係る経費・施設維持管理に係る経費」に充て、不足する場合は補助金を充てる。(A<B+Cの場合のみ補助金を支出)

## (4) 構成資産案内人の配置

875 千円

事業概要	小菅修船場跡周辺において、土・日・祝日を中心に地元自治会等による構成資産や観光案内を行う。
配置数	午前・午後各2名(118日間)

## (5) 世界遺産観光客動向及び経済波及効果調査

2,000 千円

事業概要	2つの世界遺産を訪れる観光客にアンケート調査を実施し、旅行形態やニーズ、消費額等の観光動向を把握するとともに、経済波及効果を推計し、今後の観光振興施策を検討する際の基礎資料とする。
調査箇所	大浦天主堂、グラバー園、外海地区、小菅、高島・大波止(予定)
調査件数	1,500件予定

## (6) その他経費

5,274 千円

トイレ及び駐車場 維持管理 (2,636 千円)	西出津町、上大野町の駐車場及びトイレの維持管理を行う。 ・トイレ維持管理業務委託料 1,613 千円 ・駐車場清掃等謝礼 678 千円 ・光熱水費、汲み取り手数料等 345 千円
パンフレット増刷 (2,528 千円)	・潜伏キリシタン関連遺産パンフレット (日本語 6 万部、英語・韓国語・中国語各 5 千部) ・産業革命遺産パンフレット (日本語 3 万部、英語・中国語各 5 千部)
事務費等 (110 千円)	・産業革命遺産世界遺産ルート推進協議会出席旅費 102 千円 ・エアサイネージ電気料 8 千円

## 3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
46,764	12,236	—	3,200	—	31,328

※1…地方創生推進交付金

※2…過疎債 充当率 100%

## 4 事業実施の必要性とその効果

## (1) 必要性

潜伏キリシタン関連遺産及び産業革命遺産が世界遺産に登録され、構成資産周辺では来訪者が増加している。世界遺産を活かして交流人口の拡大・地域活性化を図るために、観光客受入態勢を充実させる必要がある。

## (2) 効果

世界遺産の価値や観光に関する情報提供、便益施設の整備により、観光客の満足度向上及びリピーターの確保に繋がることが期待される。

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
136～ 137	2 総務費	1 総務管理費	22 世界遺産 推進費	2-1	【補助】世界遺産保存整備事業費 端島炭坑	千円 54,700

### 1 概 要

「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つである「端島炭坑」は、世界遺産及び国指定史跡として将来にわたり適切に保存管理していくため、「史跡高島炭鉱跡整備基本計画及び高島炭坑 端島炭坑修復・公開活用計画」に基づき、平成 30 年度から平成 39 年度の10年間にわたって優先順位をつけて継続費として整備事業を行う。

### 2 事業費 総事業費 2,554,200 千円(※平成 30 年度当初に継続費を設定)

平成 30 年度	7,400 千円
平成 31 年度	54,700 千円
平成 32 年度	42,300 千円
平成 33 年度	207,100 千円
平成 34 年度	54,000 千円
平成 35 年度	256,400 千円
平成 36 年度	626,100 千円
平成 37 年度	352,300 千円
平成 38 年度	357,800 千円
平成 39 年度	596,100 千円

### 3 事業内容 ..... 12 ページ

#### (1) 端島炭坑跡遺構状況記録調査

- 概ね 6 年ごとに構成資産の保存状況を世界遺産委員会に報告する必要があることから、経年劣化等による遺構の変化を記録するため、島全体 (65, 102. 24 m<sup>2</sup>) について 3 D レーザ一計測する。

#### (2) 第 3 竪坑捲座跡基本設計

- 平成 29 年度の調査結果に基づき、現況の構造解析を行い、構造物の補修・補強工法の検討・選定をする。
- 構造/建設年：煉瓦造/明治 29 年 (1896)
- 業務内容：①構造解析、②補修・補強工法の検討、③図面作成、④概算工事費算定、⑤施工計画 等
- スケジュール 平成 29 年度：現況調査  
平成 31 年度：基本設計  
平成 32 年度：実施設計  
平成 33 年度：工事

#### (3) 定点カメラ観測

- 島全体の管理や経年劣化等による建物の変化を把握するため、映像による記録保存を行う。
- 4 台 (3 号棟：3 台、30 号棟：1 台)

(4) 樹木等伐採

- ・ 遺構に影響を及ぼす樹木等の伐採を行う。
- ・ 年3回（1回当たり約3,000㎡）

4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 54,700	千円 26,176	千円 10,470	千円 16,800	千円 -	千円 1,254

※過疎対策事業債 充当率 100%

5 事業位置図(下線部 平成31年度事業)



【H30】石積カルテ作成  
【H37】石積変位計測調査

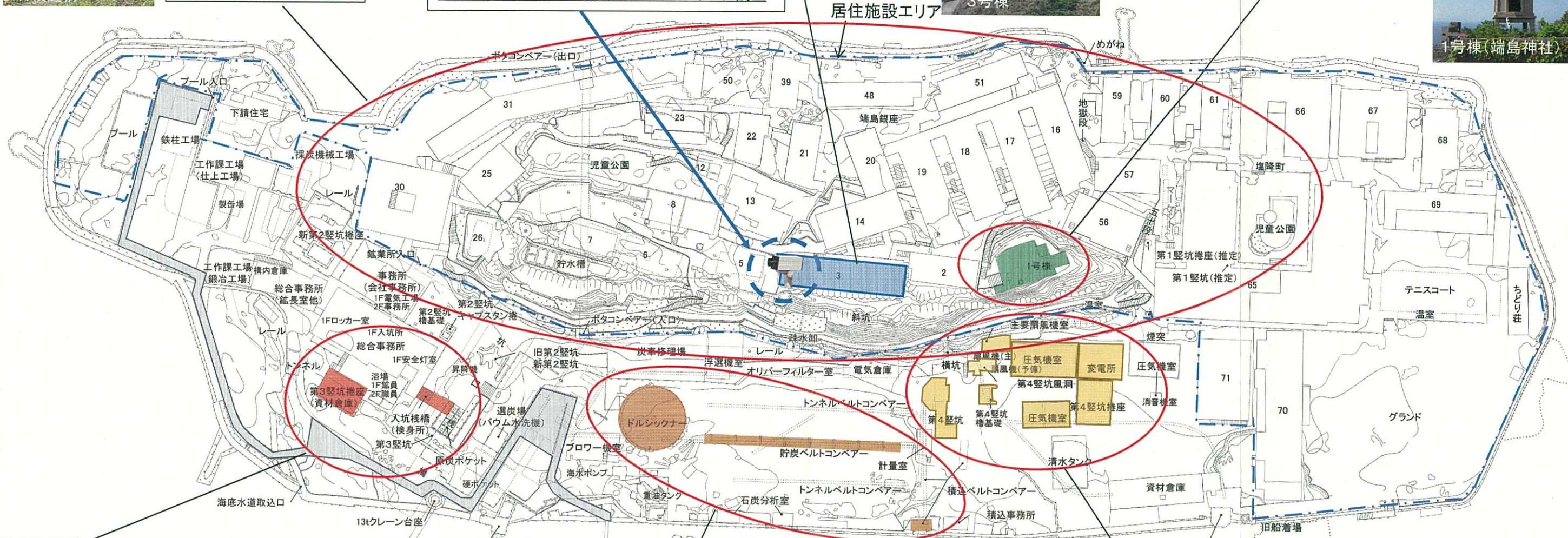


【H30~】定点カメラによる資産のモニタリング調査

【H36~】13号棟: 景観形成に貢献しかつ代表的な居住施設遺構であり劣化度から補修の延命効果を見込む



【H37~】1号棟: 労使協調で作業の安全を祈願した施設であり産業景観形成にも貢献している遺構



【H31~33】第3号坑捲座跡 基本設計: 明治期の生産施設遺構  
【H32~35】入坑棧橋(検身所): 鉱員の出入坑をイメージできる遺構



【H34~37】ドルシクナー、【H33~36】貯炭ベルトコンベア、【H37~】積込みコンベア:  
選炭、貯炭、積込という石炭運搬の流れが理解できる遺構



【H31,37】端島炭坑跡遺構状況記録調査(島全体)  
【H30~】樹木等伐採



【H36~39】第4号坑、【H36~39】捲基礎、【H35~38】第4号坑捲座跡、  
【H38~】変電所、【H39~】圧気機室(大)、【H39~】圧気機室(小)、  
【H39~】主要扇風機室、【H39~】第4号坑風洞:  
地上部における石炭の採掘システムが理解できる遺構  
(IT技術を活用した理解促進計画を検討)



【凡例】  
緑色: 擁壁遺構事業  
赤色: 生産施設遺構事業  
青色: 居住施設遺構事業  
黒色: その他事業